

牧之原市	まきのはらキッズ夢 <sup>ゆめ</sup> サポーター
------	-------------------------------

まきのはらキッズ夢サポーターは、平成 27 年から活動を続けている。主に商工会議所や榛南青年会議所などの団体の代表者が中心となって事業を運営している。毎年開催している「K I D S T O W N ぼくらのまちのはら」は、事業を継続するうちに毎年の恒例行事となり、楽しみにしている子どもも多い。中学生や高校生、大学生のボランティア参加者もあり、牧之原市の将来を担う人材の育成に繋がっている。

(1) 事業の目的及び活動の方向性	まきのはらキッズ夢サポーターは、子どもが遊びを通して社会の仕組みを学び、活動を通して自主性や主体性を育み、さらには、地域の人や物と触れ合うことにより牧之原市にさらなる愛着を持ち、牧之原市の未来を担う子へと成長することを目的とした事業である。主に、「K I D S T O W N ぼくらのまちのはら」の運営を行っている。
(2) 活動体制等 (連携する団体、子供・地域住民等の参加状況、活動年数等)	連携する団体…牧之原市商工会、榛南青年会議所、市内各小中学校、市内各高等学校等 参加状況…令和元年度は、子ども 423 人、地域住民等ボランティア 235 人が参加した。(令和 2・3 年度は新型コロナウイルスの影響により未実施) 活動年数…平成 27 年度より実施し、本年度で活動年数は 7 年目となる。
(3) 活動内容及び成果	子どもの発想で、子どもの手により、2 日間だけの仮想都市をつくる、「K I D S T O W N ぼくらのまちのはら (以下、ぼくまちとする)」を開催している。参加した子どもたちは開催日までミーティングを重ね、開催当日は店舗を運営したり、そこで稼いだお金で買い物をしたり、税金を納めたりすることで、楽しみながら社会の仕組みを学んでいる。また、実際に市内の商店や市役所・銀行・ハローワーク等に出向き、仕事についての説明を受けにいく職業体験も行っており、地域で働く大人との繋がりが深まっている。